

## バロー、水煮加工を買収

リテールと共同需要高まりに対応

バローホールディングス(HD)は1日、中国・九州地方でスーパーマーケットを展開するリテールパートナーズと水煮加工販売の白石缶詰工場(佐賀県白石町、加藤孝幸社長)の全株式を同日付で共同取得したと発表した。バローHDが66%を取得して連結子会社化し、残りはリテール社が取得。取得額は非公表。

白石缶詰工場は、レンコン産地に近い立地を生かし、素材や鮮度の良い国産のレンコンやタケノコ的水煮加工を手掛ける。2019年3月期の売上高は3億9100万円。国産需要の高まりを受け、同社の水煮加工品を2社のスーパーやディスカウントストアなど

計約550店舗で取り扱い、売り場の商品力を強化する。取得後も社長は変更せず、従業員は引き続き雇用する。

バローHDとリテール社は、北海道・東北地方でスーパーを展開するアークス(札幌市)と18年に資本業務提携し、商品の共有や限定商品の導入などを進めている。